

大谷大学大学院
研究紀要

第 35 号

- 道綽の善知識観 ……………三 池 大 地… 1
- 高木顕明の思想に関する研究 ……………上 山 慧… 27
- 戦国末期における美濃地域本願寺教団の展開
—「美濃惣坊主衆支配定書」を中心に—……………老 泉 量… 59
- チベット仏教における「道次第 (Lam rim)」と
「教説次第 (bsTan rim)」文献について ……………更 藏 切 主… 1
-

2 0 1 8

大谷大学大学院

RESEARCH REPORT OF THE
GRADUATE SCHOOL OF
OTANI UNIVERSITY

No. 35

December 2018

CONTENTS

- Daochuo's View of the Good Teacher
.....MIIKE Daichi (1)
- A Study of Takagi Kenmyō's Thought
.....UEYAMA Satoshi (27)
- The Historical Development of the Honganji Buddhist Orders
in Minō Province at the End of the Sengoku Period: With a
Focus on "Minō Sobozushū shihai sadamegaki"
.....OIZUMI Ryo (59)
- A Research about the Literature on *Lam rim and bsTan rim*
in Tibetan Buddhism
.....GENGZANG QIEZHU (1)

THE GRADUATE SCHOOL OF
OTANI UNIVERSITY
KYOTO

執筆者紹介

氏名	専攻	発表論文	
三池 大地	文学研究科 博士後期課程 第三学年	真宗学 道緯における時の問題（『真宗研究』第六十二輯）	他一編
上山 慧	文学研究科 博士後期課程 第三学年	仏教文化 峯尾節堂の生涯と思想（『熊野誌』第六十四号）	他三編
老 泉 量	文学研究科 博士後期課程 第三学年	仏教文化 美濃地域における本願寺教団の形成（『真宗研究』第六十二輯）	他二編
更 藏 切 主	文学研究科 博士後期課程 第三学年	国際文化 アティシヤに帰せられる <i>byang chub lam gyi rin pa</i> の構成について（『印度學佛教學研究』第六十六卷 第一号）	他一編

編 集 後 記

『大谷大学大学院研究紀要』は大谷大学大学院博士後期課程の学生が研究成果を公表する場として、特別の意味をもっています。学生が課程在学中に掲載することのできる論文は一本のみ。本紀要掲載（または掲載見込み）論文のあることが、本学大学院に課程博士の学位請求論文を提出する際の必要条件となります。年一回の刊行を重ね、本号で第三十五号となりました。今回の投稿は四本、指導教員の指導に加え、指導教員以外の査読委員の厳正な審査を経て、ここに公表されることとなりました。執筆者本人の努力に敬意を表するとともに、指導教員、ご尽力いただきました関係方々に心より感謝申し上げます。さらにこの研究が課程博士論文として実を結ぶことを願ってやみません。

大谷大学大学院文学研究科長

滝 口 直 子

二〇一八年十二月一日 発行

大谷大学大学院研究紀要 第三十五号

編集兼 発行者 大谷大学大学院

代表 滝口直子

発行所 大谷大学

〒六〇三-八一四三

京都市北区小山上総町

TEL〇七五四三-三三三二(代)